



## 1. マーケット・レート

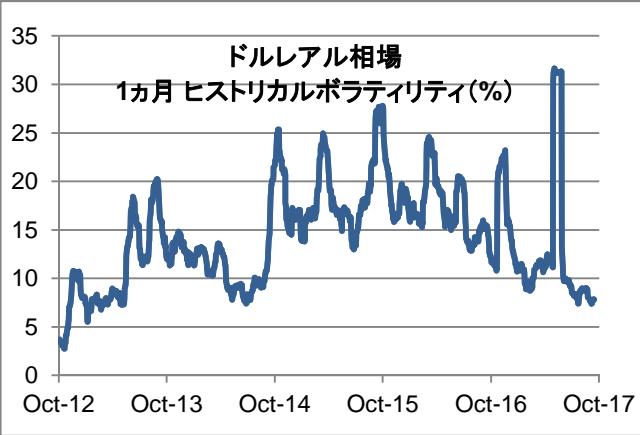
			10月16日	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1690	3.1610	3.1710	3.1710	3.1940	+0.0230
	BRL/JPY	Spot	35.39	35.51	35.60	35.49	35.54	+0.05
	EUR/USD	Spot	1.1792	1.1768	1.1796	1.1840	1.1770	-0.0070
	USD/JPY	Spot	112.18	112.21	112.91	112.56	113.51	+0.95
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.071	7.051	7.032	7.021	7.014	-0.007
	Future	1Year(p.a.)	7.150	7.119	7.127	7.105	7.112	0.006
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.306	2.271	2.219	2.200	2.201	+0.001
	USD	1Year(p.a.)	2.457	2.442	2.407	2.387	2.404	+0.017
株式	Bovespa指數		76,891.81	76,205.31	76,591.06	76,190.19	76,390.52	+200.33
CDS	CDS Brazil 5y		181.02	177.62	174.96	171.18	170.15	-1.03
商品	CRB指數		184.621	184.239	183.992	184.071	184.117	+0.046

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは週後半にかけて売られ、9月末以来の3.19台へ下落。
- 週初のレアルは3.1480で寄り付いた。米FRB議長の後任人事を巡る観測からドルが買われる中、NAFTA再交渉協議の難航に伴うメキシコペソの下落につれてレアルは3.18台前半へ下落。同協議の交渉期限が来年まで延長されると3.15台へ買戻されたが、その後は原油相場下落やFRB議長職を巡る報道に左右されながら3.17台を中心に方向感を欠く動きが続いた。週末にかけては米税制改革進展に対する期待感が高まったことでドルが買われ、レアルは3.19台まで下落。引け間際に週間安値となる3.1970を付け、そのまま安値圏の3.1940で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.70%から0.72%へ、2018年は2.43%から2.50%へ上方修正された。インフレ率予想は2017年が2.98%から3.00%へ上方修正されたが、2018年は4.02%で据え置き。為替レートは2017年末が3.16から3.15へレアル高方向に修正され、2018年末は3.30で据え置かれた。
- 米国、カナダ、メキシコによるNAFTA再交渉の第4回協議が17日に閉幕。対立が深まる中で交渉期限を来年3月まで延長することが発表された。協議結果に対する警戒感が後退したことで3営業日続落していたメキシコペソの買戻しが進行。レアルもつれて上昇した。
- 18日、憲法法務委員会(CCJ)は連邦検察庁が行ったテメル大統領に対する二度目の起訴について採決を実施。同委員会の報告官が作成した起訴内容を認めないとする報告書を賛成39票・反対26票で承認したが、予想通りの結果となったことで市場の反応は限られた。
- 18日、伯中銀は8月の経済活動指数を発表した。前月比▲0.38%と予想の▲0.25%を下回ったが、前年比では+1.64%と7月の+1.28%から改善。引き続き緩やかな回復傾向を示した。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



出所 : Bloomberg

## ドルレアル相場のボラティリティが低位で安定

ドルレアル相場について動意を欠いた動きが続いている。7月に労働法改正案が予想を上回る賛成票で可決。後退していた改革進展への期待感が高まったことでレアルは3.30台から3.20を割る水準まで急速に買われたが、それ以降は落ち着いた値動きとなっている。今週のレアル相場は週末にかけて軟調な展開となったものの、安値は3.19台に止まり9月後半以降の取引レンジを維持。期間1ヶ月のヒストリカルボラティリティは8%近辺で推移しており、2014年後半にレアル相場が急落する前の水準まで低下している。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想 ドル・レアル相場レンジ：3.15—3.25

来週のレアルは軟調な動きを予想する。堅調な米経済指標が続く中、12月FOMCでの利上げ観測はドルの支援材料。FRB議長の後任人事を巡る動きを睨みつつも、ドルが買われやすい展開を見込む。来週は24-25日にCOPOMが開催予定。金利先物市場は0.75%の利下げを既に織り込み済み。また12月会合については約0.43%の利下げを織り込んでいる。低いインフレ率が続く中、伯中銀が前回会合で示した緩やかに利下げ幅を縮小していくとの姿勢を維持するか、声明文の内容に注目したい。また、テメル大統領に対する二回目の起訴について下院本会議での採決が25日に行われる予定。最高裁での審理開始には下院で3分の2の同意を得る必要があり、テメル大統領は審理開始を阻止可能と見られている。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IGP-M Inflation 2nd Preview	0.40%	0.30%	0.41%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	0.35%	0.34%	0.11%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	2.72%	2.71%	2.56%
米	中古住宅販売件数	5.30m	5.39m	5.35m
米	中古住宅販売件数(前月比)	-0.9%	0.7%	-1.7%
米	月次財政収支	\$6.0b	\$8.0b	\$33.4b

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	10/23	Federal Debt Total	Sep	--	3404b
ブラジル	10/23	CNI産業信頼感	Oct	--	55.7
ブラジル	10/25	FGV消費者信頼感	Oct	--	82.3
ブラジル	10/25	SELICレート	Oct 25	7.50%	8.25%
ブラジル	10/26	FGV建設コスト(前月比)	Oct	--	0.14%
ブラジル	10/26	PPI 製造業(前月比)	Sep	--	0.12%
ブラジル	10/26	PPI 製造業(前年比)	Sep	--	1.27%
ブラジル	10/26	経常収支	Sep	\$200m	-\$302m
ブラジル	10/26	海外直接投資	Sep	--	\$5138m
ブラジル	10/26	中央政府財政収支	Sep	--	-9.6b
ブラジル	10/27	ローン残高(前月比)	Sep	--	-0.10%
ブラジル	10/27	融資残高	Sep	--	3047b
ブラジル	10/27	個人ローン・デフォルト率	Sep	--	5.70%
米	10/27	GDP(年率/前期比)/速報値	3Q	2.6%	3.1%
米	10/27	ミシガン大学消費者マインド	Oct	101.0	101.1

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。